

幼年童話人気シリーズに学ぶ 子どもの心のとらえ方、ひろげ方

藤本 恵

1. 幼年童話の歴史と評価

日本の児童文学のなかに幼年童話がどのようにして登場し、評価されてきたのかをたどりま
す。1980年前後に増えるエンターテインメント系の幼年童話が、子ども読者に支持される一
方で、大人の児童文学者から批判されがちだった状況を紹介します。

- (1) 童話・童謡ブームから幼年童話へ
- (2) 幼年童話の展開
- (3) エンターテインメント幼年童話への批判

2. 「まじょ子」のかく乱

「まじょ子」シリーズ（藤真知子、ポプラ社）の初期を追います。1985年から2018年ま
で長く続くシリーズの基盤はどのように築かれたのでしょうか。小学校低学年の子どもたちに
向けた語りの試行錯誤や、日常や常識をくつがえしていくナンセンスやユーモアの効果を探り
ます。

- (1) 大人から子どもへ、手渡された語り
- (2) 結婚って、なに？
- (3) かわいいのは、だれ？

3. 「小さなおばけ」の成長

「小さなおばけ」シリーズ（角野栄子、ポプラ社）に登場する三人のおばけアッチ・コッチ・
ソッチのうち、アッチの1980年代を追います。アッチは、葛藤や孤独を感じる内面を持つ登
場人物です。そのアッチが成長していく長編物語として、シリーズを読みなおしてみます。

- (1) アッチとえっちゃん
- (2) アッチの成長と孤独
- (3) ヒーローとしてのアッチ